

カーシェアリング

私は学生が糸島の自然を相手に遊んだり学んだりする機会の創出や学生の生活環境向上のため、(学生の田舎(自然)離れを改善する)ために九州大学周辺に多数のカーシェアリング施設を普及することを提案します。現在、私は九州大学に在籍しており、糸島市で一人暮らしをしております。

九州大学伊都キャンパスは福岡市西区の糸島市に近い、自然豊かな土地にあります。糸島は山あり海ありの自然豊かな観光スポットとして有名ですが、学生がよく遊びに行く場所のほとんどは天神や博多です。時代の変化もありますが、一番の原因は糸島の広大な土地に対する公共交通機関の少なさです。糸島には白糸の滝や芥屋の海水浴場といった名スポットがありますが、九州大学からは20キロ近く離れています。加えて、起伏が激しく風も強いので自転車で行き来するのは非常に大変であり、自由に移動するには車やバイクが必須です。しかし、学生で車やバイクを所持しているのはほんの僅かで殆どの学生が自転車しか所有していません。そのため糸島の海や山に遊びに行きたいと思っても、レンタカーを駅周辺まで借りに行く必要があり、気軽な気持ちで遊びに行くことができません。これが学生の自然離れの原因になっています。私は糸島を自由に移動する手段があれば、学生のアウトドアが活発になると思います。

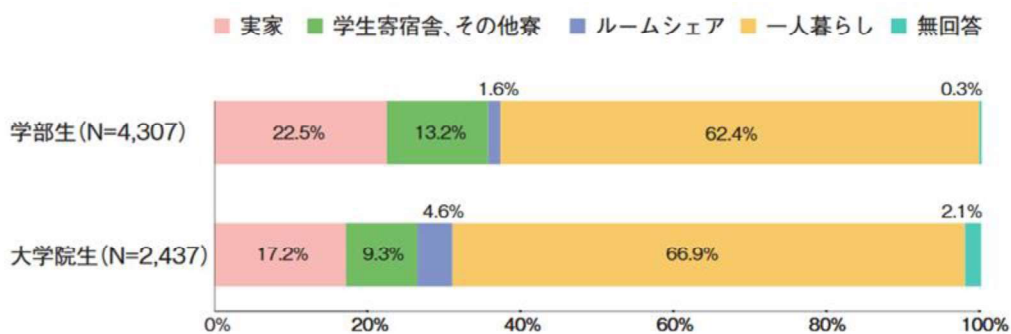
また、九州大学は福岡市内にあるにも関わらず、他の市内の大学よりも非常に交通の便が良くありません。九州大学から最寄り駅 JR 筑肥線の九大学研都市駅までは片道4〜5キロほどあり、スーパーは駅の近くにしかないので、九大周辺に住む学生は買い物

をするにも一苦勞しています。九州大学から駅までバスは出ていますが、時間や便数・路線も限られていて、家からバス停までの道のりも遠いという学生も多くいます。国立大学の学生の約6割が一人暮らしをしていると言われており、平成27年度の九大の学部と大学院生を対象に行われた生活実態調査によると、およそ7割を超える学生が自宅外通学をしていることが分かっています。そのため多くの学生が交通の便の悪さに苦勞しているのです。そこで、具体的な案を下記に示します。



© dak

(人)	調査数	実家	学生寄宿舍、 その他寮	ルームシェア	一人暮らし	無回答
学部生	4,307	970	567	71	2,686	13
大学院生	2,437	418	227	111	1,630	51



※九州大学平成27年度学生生活実態調査報告書より

■カーシェアリングの仕組み

・料金体系（初期費用、月額基本料、時間料金、距離料金、その他料金）

→糸島はとても移動範囲が広く、交通量が多いわけではないので時間料金性がよい。初期費用や月額基本料についてはスポンサーなどをつけて協力していただき、なるべく負担のかからない金額にしたい。

・設置場所や台数について

→九大周辺、特に学生寮、学生マンションのある場所に配置。具体的にはドミトリー、伊都協奏館、セトル（伊都、新町）、その他学生の多いマンション・アパート等。寮やマンションの規模にもよるが一箇所5，6台を目安にする。

・カーシェアの運営や管理・清掃などは学生がアルバイトとして行う

→学生のアルバイト不足の解消にもなる！また、スポンサーについても学生主体で動く。これにより学生と地域の企業の方との交流機会をさらに増やすことができ、学生のコミュニケーションスキルアップにもつながると考えている。

・公共交通機関が少ない地域の移動手段のモデル実験になり、学生の学びの機会の創出にも繋がる！

→地方にある様々な大学で普及されるようになるとよい。

・利用対象者

→地域住民の方は車を持っている方も多いと思うので基本的に九大生のみ、うまくいけば

地域住民も使えるよう拡大する。

・観光目的で外から来た人たちが利用できれば、休日の国道 202 号線や夏の観光シーズン、学研都市周辺（伊都イオンの利用）の渋滞解消につながるかもしれない。

■カーシェアリングが実現すれば。。。。

まず、糸島の海や山に出かける人が増え、よりアウトドアが活発になり、学生のメンタルヘルスが改善されます。また、学生が糸島を観光することによる地元のお店の売上向上や地域の方との交流の機会の増加も期待でき、糸島市内の経済の活性化に繋がります。

また、九大周辺に住む人は日々の買い物の負担が減るでしょう。そして、新型コロナウイルスの感染拡大が懸念される中で、カーシェアを普及させることで移動時に不特定多数の人と接触するリスクや、目的の場所を街ではなく自然に変更することが可能になることにより密な状況を避けることができ、感染拡大防止に寄与できると考えられます。したがって、カーシェアは九州大学の学生だけでなく、糸島地区全体のクオリティ・オブ・ライフの向上につながるでしょう。

参考文献

・平成 27 年度学生生活実態報告書

<https://www.kyushu-u.ac.jp/f/27494/%E5%B9%B3%E6%88%9027%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E5%AD%A6%E7%94%9F%E7%94%9F%E6%B4%BB%E5%AE%9F%E6%85%8B%E8%AA%BF%E6%9F%BB%E5%A0%B1%E5%91%8A%E6%9B%B8.pdf>